

2026（令和8）年度事業計画（案）

・予算（案）の概要



全国健康保険協会 佐賀支部
協会けんぽ

今後の運営委員会・支部評議会のスケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営委員会	7/24 決算・事業報告 収支見通しの前提		9/10		11/28 (12/15) インセンティブ制度：R6年度実績の評価	12/23 平均保険料率 ・論点 ・5年収支見通し	1/29 ・評議会における意見の報告 ・平均保険料率の決定	(2/12) 都道府県単位保険料率 ・都道府県単位保険料率の決定 ・支部長意見	3/24 (保険料率の広報等)
支部評議会				第2回評議会(10/22) 平均保険料率 支部事業計画・支部保険者機能強化予算の事前意見聴取		第3回評議会(1/20) 都道府県単位保険料率 インセンティブ制度R6年度実績の評価			
国・その他						政府予算案閣議決定	保険料率の認可等	事業計画、予算の認可等	関係告示等
				診療報酬改定 調査・検討・議論		診療報酬改定案 諮問・答申			

2026（令和8）佐賀支部事業計画（案）の概要

令和8年度事業計画の位置づけ

- 2024年度からスタートした第6期保険者機能強化アクションプランでは、3年間で達成すべき主な取組に加え、達成状況を評価するためのKPIを定めている。
- 本事業計画は、第6期保険者機能強化アクションプランの目標を達成できるよう、令和8年度に実施すべき取組と進捗状況を評価するためのKPIを定めるものである。

（1）基盤的保険者機能

【主な重点施策】

●健全な財政運営

- ・中長期的な視点での健全な財政運営
- ・国や都道府県等の会議等における積極的な意見発信

●業務処理体制の強化と意識改革の徹底

- ・電子申請に対応した業務処理体制の構築
- ・業務の標準化・効率化・簡素化の徹底及び職員の意識改革促進
- ・すべての職員の多能化を促進し、事務処理体制を強化することによる生産性の向上

●サービス水準の向上、現金給付等の適正化の推進

- ・**(拡充)** コールセンターの拡充、受電体制の強化及び研修の実施による相談業務の標準化や質の向上の推進
- ・**(新規)** 生成AI活用によるチャットボットの拡充
- ・傷病手当金と障害年金等との併給調整の適正な実施
- ・電話や窓口による相談で多言語化や記入の手引きの多言語化などの国際化対応の推進

●債権管理・回収と返納金債権発生防止の強化

- ・「債権管理・回収計画」に基づいた早期回収に向けた取組の着実かつ確実な実施
- ・弁護士等と連携した効果的な催告及び法的手続きの厳格な実施
- ・オンライン資格確認を有効活用させるため日本年金機構と連携した資格関係の早期届出に関する広報を実施

●DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

- ・マイナ保険証による保険診療の周知徹底
- ・**(拡充)** 電子申請等の推進及びけんぽアプリの拡充
- ・**(新規)** 健康保険委員等向け情報提供をオンラインで行うための専用サイト構築
- ・マイナポータル等のデジタル化の進展に伴う「医療費のお知らせ」の送付方法の見直し

【主な重点施策】

●データ分析に基づく事業実施

- ・医療費・健診データ等を活用した分析に基づく、医療費適正化等に向けた事業及び情報発信の実施
- ・**(新規)** 複数の近隣支部の分析担当者による「ブロック別分析体制」の構築による職員の分析能力の更なる向上
- ・外部有識者を活用した調査研究の実施及び研究成果等の活用
- ・外部有識者からの助言を踏まえた「保険者努力重点支援プロジェクト」の事業の実施
- ・保険者努力重点支援プロジェクトの全支部への効果的な手法等の展開

●特定健診実施率・事業者健診データ取得率等の向上

- ・**(拡充)** 生活習慣病予防健診について、20・25・30歳の若年者への対象拡大に加え、骨粗鬆症検診をオプションとして追加
- ・**(新規)** 35歳以上の被保険者を対象とした人間ドック健診の創設
- ・被扶養者の特定健診における「骨粗鬆症検診」「歯科検診」「眼底検査」を集団健診時のオプション健診として実施
- ・電子カルテ情報共有サービスを活用した事業者健診データ取得の推進
- ・2027年度に実施する被扶養者を対象とした生活習慣病予防健診及び人間ドック健診等の準備

●特定保健指導の実施率及び質の向上

- ・**(拡充)** 人間ドック健診の創設を契機とした、特定保健指導の一層の実施率向上と委託機関数拡大の推進
- ・外部委託の更なる推進、健診当日の初回面談の実施及び特定保健指導の早期実施に向けた健診当日の働きかけの拡充
- ・主要達成目標である「腹囲2センチかつ体重2キロ減」をはじめとした成果を重視した特定保健指導の推進

●重症化予防対策の推進

- ・血圧、血糖、脂質等に着目した未治療者への受診勧奨の実施
- ・**(拡充)** 胸部エックス線検査における要精密検査・要治療者への受診勧奨の実施及び他のがん検査項目における受診勧奨の検討
- ・糖尿病性腎症重症化予防事業について、かかりつけ医等と連携した取組の効果的な実施

(2) 戰略的保険者機能

●コラボヘルスの推進

- ・ 健康宣言のプロセス及びコンテンツの標準化を基本としたコラボヘルスの推進
- ・ 商工会議所等との協定締結や連携した取組の推進による健康づくりの取組の充実
- ・ **(拡充)** 女性の健康等、健康課題に着目した実効性のあるポピュレーションアプローチの推進
- ・ メンタルヘルス対策として、出前講座等を全支部において積極的に実施

●医療資源の適正使用

- ・ データ分析に基づき地域の実情に応じたジェネリック医薬品の一層の使用促進
- ・ バイオシミラーの使用状況を分析及び地域フォーミュラリのデータ分析をもとにした医療機関や関係団体への働きかけ
- ・ ポリファーマシー（多剤服用の有害事象）、抗菌薬の適正使用、上手な医療のかかり方等の加入者への周知・啓発

●地域の医療提供体制等へのデータを活用した意見発信

- ・ 医療計画及び医療費適正化計画に係る他の保険者等とも連携した積極的な意見発信
- ・ 医療提供体制等に係る地域医療構想調整会議等におけるデータ等を活用したエビデンスに基づく効果的な意見発信
- ・ 医療保険部会や中央社会保険医療協議会等における医療保険制度の持続可能性の確保等に向けた意見発信

●広報活動や「顔の見える地域ネットワーク」を通じた加入者等の理解促進

- ・ 「広報基本方針」に基づく「広報計画」の策定・実施
- ・ 最重点広報テーマの「令和9年度保険料率改定」、「健診体系の見直し（現役世代への健診事業の拡充）」、「健康保険制度の意義や協会の役割等への共感が広がる環境づくり」、「電子申請・けんぽアプリの利用促進」における本部・支部による一体的・積極的な広報の実施
- ・ 全面リニューアルを実施したホームページの安定運用
- ・ **(新規)** コミュニケーションロゴやタグラインを使用した協会けんぽの認知度向上
- ・ **(新規)** 電子申請やけんぽアプリ利用者拡大に向けた健康保険委員を通じた広報強化

●国際化対応

- ・ **(新規)** 日本の優れた社会保障制度や国民皆保険、予防医療のノウハウを、他国の医療保険者や政府関係者と共有

(3) 組織・運営体制の強化

【主な重点施策】

●人事制度の適正な運用、新たな業務のあり方を踏まえた戦略的な人員配置

- ・ 実績や能力に基づく人事評価結果の適正な処遇反映、実績や能力本位かつ適材適所の人事の推進

●更なる保険者機能の発揮に向けた人材の育成

- ・ 役職に応じた階層別研修及び業務遂行上必要となる専門的なスキル等の習得に向けた業務別研修の実施
- ・ 研修の体系や内容等の見直しによる更なる保険者機能の発揮に必要な能力を兼ね揃えた人材の育成
- ・ 各支部の課題に応じた研修やオンライン研修・eラーニングによる多様な研修機会の確保

●働き方改革の推進

- ・ 健康経営の推進、次世代育成支援及び女性活躍の推進、福利厚生の充実を柱とした協会の働き方改革の推進
- ・ 病気の治療、子育て・介護等と仕事の両立支援、ハラスマント防止やメンタルヘルス対策等の推進

●内部統制の強化・災害への対応

- ・ リスクの発生を未然に防止するための取組の推進
- ・ eラーニング等を活用した内部統制やリスク管理に係る意識啓発
- ・ 災害発生に備えた業務継続計画書（BCP）等の見直し

●システム対応

- ・ 日々の運行監視やシステムメンテナンス業務の確実な実施を通じた協会システムの安定稼働
- ・ 法律改正、制度改正及等に対する適切なシステム対応
- ・ 被保険者及び被扶養者を対象とした健診体系の見直し及び重症化予防対策に係るシステム対応
- ・ 協会のDXの推進に向け、先進的なデジタル技術を活用した協会システムの計画的な導入を実施

2026（令和8）佐賀支部広報計画（案）の概要

1. 当該年度の広報に関する取組方針及び主に取り組む事項

令和8年度の支部広報計画では、①協会及び協会の事業に関する認知度の向上、②加入者・事業主に協会への共感が広がる環境づくり、③広報チャネルの強化、④広報担当者の育成を取組方針として定める。

【取組方針に基づき、主に取り組む事項】

- ①、協会及び協会の事業の認知度の向上については、最重点広報とする「令和9年度保険料率改定（インセンティブ制度の周知を含む）」「健診体系の見直し（現役世代への健診事業の拡充）」「健康保険制度の意義や協会の役割等への共感が広がる環境づくり」「電子申請・けんぽアプリの利用促進」を中心とした積極的な広報に取り組む。
- ②、加入者・事業主に協会への共感が広がる環境づくりについては、健診や特定保健指導、重症化予防（未治療者への受診勧奨）等の実施率向上に向けた協会事業の更なる推進を踏まえ、支部が実施するこれらの取組へ協力の基礎となる共感形成を図るべく、新たな全国統一のコミュニケーションロゴやタグラインを使用し、健康保険制度の意義や協会の役割等への共感が広がる広報を積極的に取り組む。
- ③、広報チャネルの強化については、既存広報であるメールマガジン、LINE、納告チラシ、健康保険委員会報誌等の各種媒体による広報を確実に実施する。また、ホームページのリニューアルに伴う掲載情報の整理やアクセシビリティ・ユーザビリティの実現等を踏まえた安定運用、さらには、令和8年1月にリリースされるけんぽアプリの普及に向けて、電子申請の利用促進と合わせて積極的な広報を行う。
- ④、広報担当者の育成については、広報が単調かつ硬直化しないよう本部と連携し、広報内容の調整や調達における仕様書の精査等、広報業務における質の向上を図る。

2. 最重点広報（全支部共通）

広報テーマ	実施概要	メインターゲット	主な広報媒体	実施予定期間
① 令和9年度保険料率改定（インセンティブ制度の周知を含む）	令和9年度都道府県単位保険料率及び保険料率設定の仕組み、インセンティブ制度（健康づくり及び医療費適正化につながる取組）、こども・子育て支援金制度について周知する。	被保険者・事業主	新聞広告・メールマガジン・納入告知書チラシ・関係団体広報誌・チラシ等	令和9年2～3月
② 健診体系の見直し（現役世代への健診事業の拡充）	令和9年度より実施する被扶養者の健診体系の見直しについて周知する。	加入者（被扶養者）・事業主	新聞広告・メールマガジン・納入告知書チラシ等	令和9年2～3月
③ 健康保険制度の意義や協会の役割等への共感が広がる環境づくり	加入者・事業主が協会や協会の役割に関心を持ち、共感し、協会事業への協力関係を構築するため、協会の役割や提供価値を周知する。	加入者・事業主	新聞広告・メールマガジン・LINE等	令和8年9月
④ 電子申請・けんぽアプリの利用促進	電子申請の開始やメリット、利用方法等を継続的に広く周知する。また、けんぽアプリを経由した電子申請が可能になることから、電子申請の利用の際には、けんぽアプリのダウンロードを推奨するよう周知する。	加入者・事業主・担当者・健康保険委員・社会保険労務士	納入告知書チラシ・チラシ・メールマガジン・LINE等	通年

2026（令和8）佐賀支部広報計画（案）の概要

3. 重点広報

広報テーマ	実施概要	メインターゲット	主な広報媒体	実施予定期間
健診	佐賀支部加入者の更なる健診受診率向上を目的として、令和7年度制作の佐賀支部キャラクターを活用した健康づくりショート動画（健診、保健指導、食生活、身体活動、節酒、禁煙、口腔予防）をもとに県内全域に幅広く多様な媒体で広報を行うことで、加入者の健康リテラシー向上や行動変容を促す。	加入者	テレビCM・TVerCM・WEB広告・YouTube等	9月～3月
特定保健指導	佐賀支部加入者の更なる特定保健指導実施率向上を目的として、令和7年度制作の佐賀支部キャラクターを活用した健康づくりショート動画（健診、保健指導、食生活、身体活動、節酒、禁煙、口腔予防）をもとに内全域に幅広く多様な媒体で広報を行うことで、加入者の健康リテラシー向上や行動変容を促す。	加入者	テレビCM・TVerCM・WEB広告・YouTube等	9月～3月
ポピュレーションアプローチ	佐賀支部加入者の健康課題（食生活、身体活動、節酒、禁煙、口腔予防）の改善を目的として、令和7年度制作の佐賀支部キャラクターを活用した健康づくりショート動画（健診、保健指導、食生活、身体活動、節酒、禁煙、口腔予防）をもとに県内全域に幅広く多様な媒体で広報を行うことで、加入者の健康リテラシー向上や行動変容を促す。	加入者	テレビCM・TVerCM・WEB広告・YouTube等	9月～3月

4. 特別広報

広報テーマ	実施概要	メインターゲット	主な広報媒体	実施予定期間
制度改正等の状況を踏まえて適宜対応する（現時点で設定なし）				

支部保険者機能強化予算について

「基礎的業務関係予算」とは、すべての支部に共通する経費にかかる予算

「支部保険者機能強化予算」とは、地域性を踏まえた支部独自の取組を行う事業にかかる予算

予 算 体 系	支 部 保 険 者 機 能 強 化 予 算	基礎的業務関係予算	
		① 保険給付等業務経費	保険証の回収や廃棄処理、債権回収などに関する経費
		② レセプト業務経費	レセプト点検研修や審査医師への謝金などに関する経費
		③ 企画・サービス向上関係経費	健康保険委員への情報提供などに関する経費
		④ 保健事業経費	健診年次案内や保健指導旅費などに関する経費
		⑤ 一般管理費	事務室の賃借料、光熱費、備品、旅費などに関する経費
医療費適正化等予算 (通常枠・特別枠)	保健事業予算 (通常枠・特別枠)	① 医療費適正化対策経費	適正受診やジェネリック対策などに関する経費
		② 広報・意見発信経費	広報に関する経費 (広報動画、紙媒体、その他の媒体)
保健事業予算 (通常枠・特別枠)	① 健診経費	健診受診勧奨や集団健診などに関する経費	
	② 保健指導経費	主に健診機関による特定保健指導に関する経費	
	③ 重症化予防事業経費	未治療者対策や重症化予防に関する経費	
	④ コラボヘルス事業経費	事業所とのコラボヘルスに関する経費	
	⑤ その他の保健事業経費	その他、保健事業に関する経費	

2026（令和8）佐賀支部保険者機能強化予算（案）の概要

	分野	科目	担当G	令和8年度予算額	令和7年度予算額	増減額
支部保険者機能強化予算	医療費適正化等予算	医療費適正化対策経費	企画総務G	0円	0円	±0円
		広報・意見発信経費	企画総務G	9,605千円	9,689千円	▲84千円
		通常枠小計		9,605千円	9,689千円	▲84千円
		特別枠	企画総務G	0円	0円	±0円
	合計			9,605千円	9,689千円	▲84千円
	保健事業予算					
保健事業予算	健診経費	健診経費	保健G	14,599千円	11,605千円	+2,994千円
		保健指導経費	保健G	946千円	1,606千円	▲660千円
		重症化予防経費	保健G	9,707千円	12,698千円	▲2,991千円
		コラボヘルス事業経費	企画総務G	2,574千円	2,582千円	▲8千円
		その他保健事業経費	保健G	1,468千円	803千円	+664千円
	通常枠小計			29,294千円	29,294千円	±0円
	特別枠	特別枠	保健G	0円	0円	±0円
		合計		29,294千円	29,294千円	±0円